

員の先生方から管理運営委員を選任し、会場内外の警備・不審者等に対する防犯・演武中の事故防止或は演武時間の告知等を担当して頂きました。

「祓の儀」一心無双流居合道・教士八段・山田文典先生の見事な演武で、三十四組の選り優れた先生方の演武が披露されました。演武制限時間（七分間）を超過され（黄旗）で告知した団体は三団体であり、一団体の演武時間の平均は約五分二十秒でした。

柳生心眼流居合術・錬士六段・小林信之先生の「納の儀」を以て、本年度の古武道奉納演武大会も大過なく無事納めとなりました。

特筆 本年四月二十八日、高段者昇段審査会に於きまして不運にも僅差で不合格となりました二名の高段者審査会が、古武道奉納演武大会終了後「額殿」にて実施されました。

額殿外では、多勢の観光客を交え数十人のギャラリーが日本の武道（サムライ）の一即一刀をカメラに納めようと真剣にシャッターを切つて居られました。六段を受審された男性・七段審査の演武をされた女性、共に迫力ある所作見事でありました。

審査統括委員長より、「合格」の判定が下された瞬間、二人は喜びの感激を胸に今以上の居合道に精進されること疑いありません。

秋の陽は釣瓶落しと申します。平安神宮の木々も赤い夕陽に染まり、間もなく訪れる紅葉の時期を迎え、来期、古武道奉納演武大会には諸先生方のお元気なお姿・お見事な演武をお待ちしております。

早朝からの青龍殿公式拝観・平安神宮古武道奉納演武大会と大変ご苦労様でした。本大会進行等につきまして多くの反省材料が御座います。実行委員会といたしましては、諸先生方からのご意見などお聞かせ頂き、総意の上更に発展した大会を望んでおります。

